



参天製薬株式会社

2014年度 第1四半期決算説明会

**第1四半期業績概要と
通期業績予想の修正**

2014年8月6日

執行役員

チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

兼 財務・管理本部長

越路 和朗



2014年度 第1四半期 連結業績概要

2014年度 第1四半期 決算概況

(単位:億円)	2013年度 第1四半期 実績	2014年度 第1四半期 実績	対前年同期 増減率
売上高	343.1	336.8	▲1.8%
売上原価 (対売上高比率)	135.0 39.3%	135.8 40.3%	+0.6% +1.0pt
研究開発費除く販売費 (対売上高比率)	91.5 26.7%	104.6 31.1%	+14.4% +4.4pt
研究開発費 (対売上高比率)	38.4 11.2%	42.3 12.6%	+10.2% +1.4pt
営業利益 (対売上高比率)	78.1 22.8%	53.9 16.0%	▲31.0% ▲6.8pt
経常利益	82.1	54.9	▲33.1%
四半期純利益	55.6	37.3	▲32.9%

<為替レート>	13FY1Q実績	14FY1Q実績
US\$	JPY 98.28	JPY 102.17
Euro	JPY 125.11	JPY 140.18
中国元	JPY 14.62	JPY 16.54

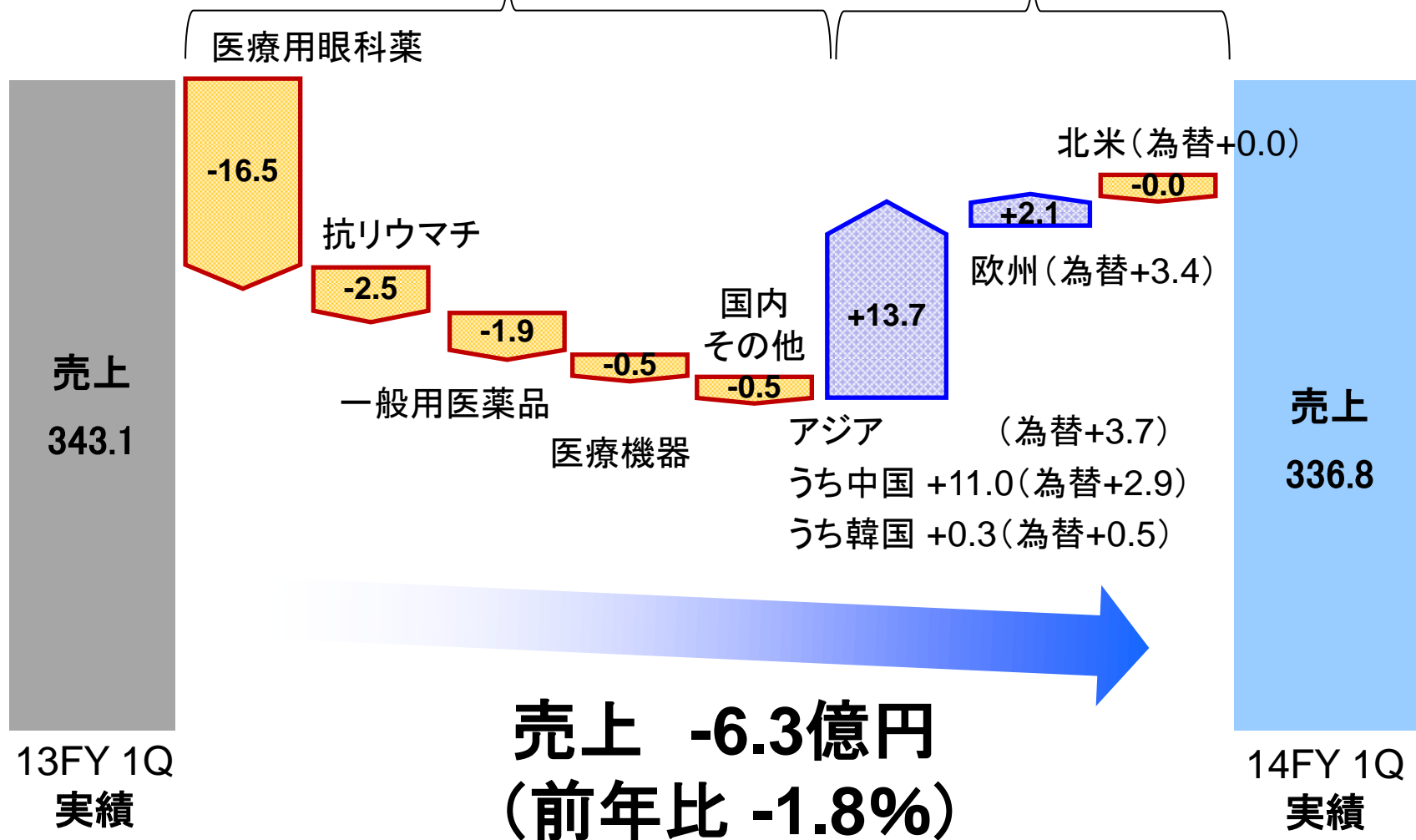
2014年度 第1四半期

売上高の増減内訳

(億円)

国内 -22.1億円
(前年比-7.7%)

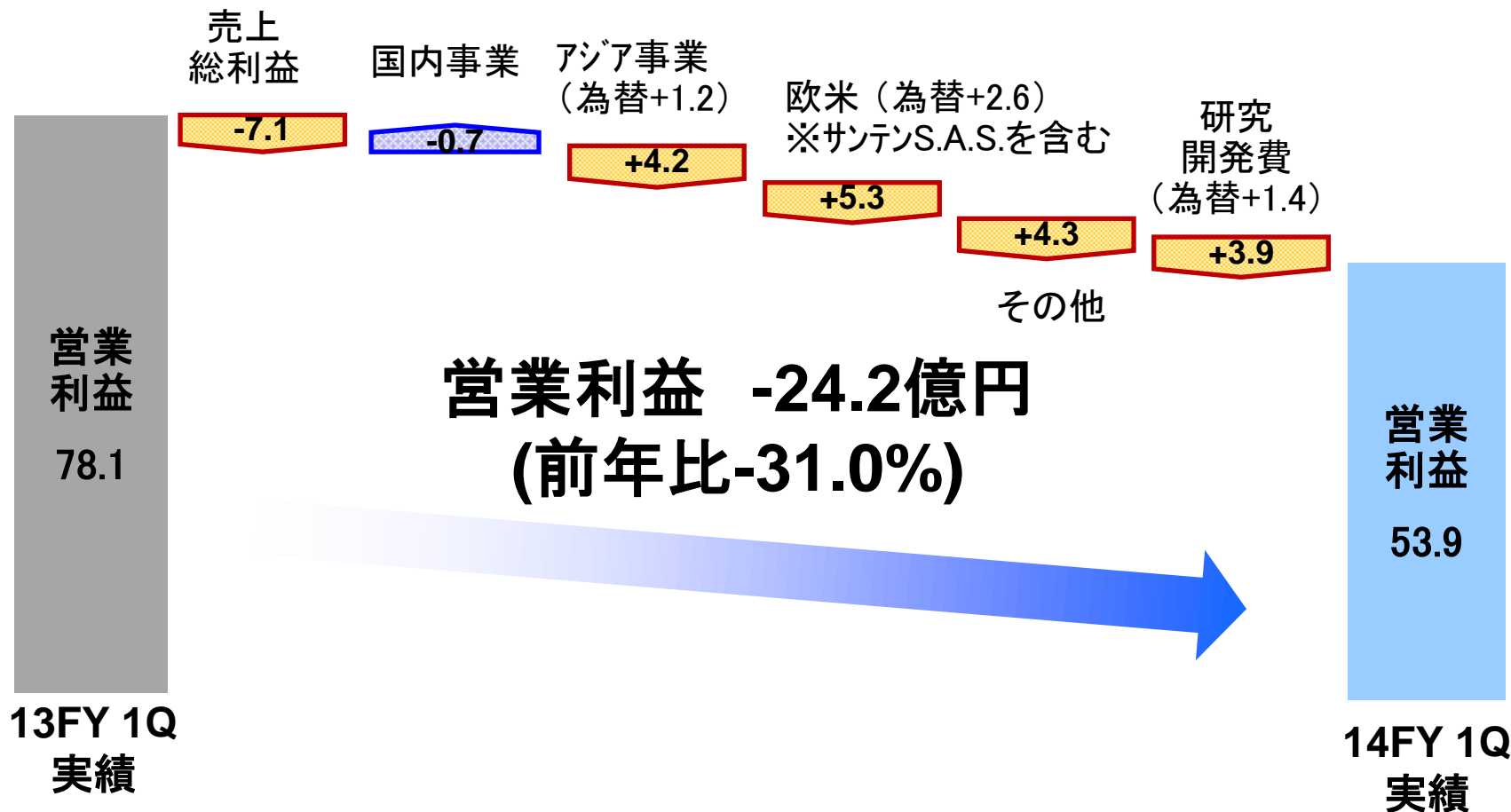
海外 +15.8億円
(うち為替 +7.1億円)
(前年比 +28.1%)



営業利益の増減内訳

販管費 (R&D費除く) +13.1億円 (前年比+14.4%)

(億円)





2014年度 通期業績予想の修正について

2014年度 連結業績予想 修正

(単位:億円)	2013年度 実績 (日本基準)	2014年度 予想 修正 (日本基準)	対前年 増減率	2014年度 旧予想 (日本基準)
売上高	1,486.6	1,560.0	+4.9%	1,510.0
売上原価 (対売上高比率)	581.0 39.1%	520.0 33.3%	▲10.5% ▲5.8pt	575.0 38.1%
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	441.0 29.7%	547.0 35.1%	+24.0% +5.4pt	465.0 30.8%
研究開発費 (対売上高比率)	190.4 12.8%	193.0 12.4%	+1.4% ▲0.4pt	190.0 12.6%
営業利益 (対売上高比率)	274.1 18.4%	300.0 19.2%	+9.4% +0.8pt	280.0 18.5%
経常利益	279.2	300.0	+7.4%	285.0
当期純利益	171.0	195.0	+14.0%	186.0
償却前営業利益	312.0	377.0	+21.0%	320.0
キャッシュROE	-	14.6%	-	-
ROE	9.9%	10.5%	+0.6pt	10.0%

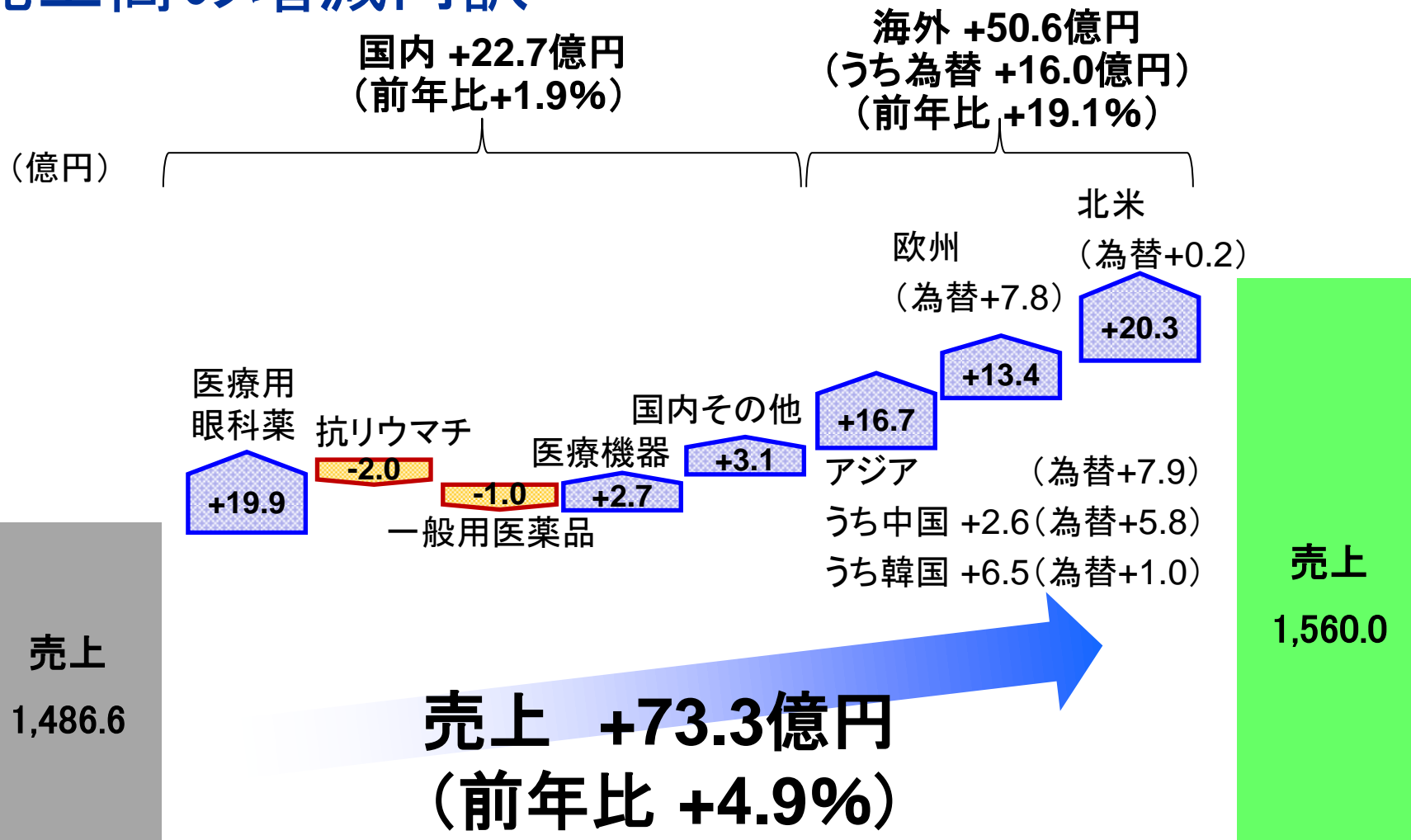
2014年度 連結業績予想 修正

(単位:億円)	2014年度 予想 修正			
	既存事業	メルク案件*	合算	対前年 増減率
売上高	1,510.0	50.0	1,560.0	+4.9%
売上原価 (対売上高比率)	575.0 38.1%	-55.0 -	520.0 33.3%	▲10.5% ▲5.8pt
研究開発費除く 販売管理費 (対売上高比率)	465.0 30.8%	82.0 -	547.0 35.1%	+24.0% +5.4pt
研究開発費 (対売上高比率)	190.0 12.6%	3.0 -	193.0 12.4%	+1.4% ▲0.4pt
営業利益 (対売上高比率)	280.0 18.5%	20.0 40.0%	300.0 19.2%	+9.4% +0.8pt
経常利益	285.0	15.0	300.0	+7.4%
当期純利益	186.0	9.0	195.0	+14.0%
償却前営業利益	320.0	57.0	377.0	+21.0%

*メルク案件:2014年5月8日付で契約締結した、米メルク社から取得した眼科資産からの事業貢献を示す。

2014年度予想 修正 (対前期 決算期統一)

売上高の増減内訳



13FY実績
決算期統一

<為替レート>	13FY実績	14FY予想 修正
US\$	JPY 100.04	JPY 103.00
Euro	JPY 132.98	JPY 141.00
中国元	JPY 15.93	JPY 16.90

14FY予想
日本基準

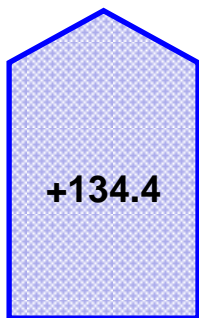
2014年度予想 修正 (対前期 決算期統一)

営業利益の増減内訳

販管費 (R&D費除く) +69.0億円 (前年比+15.6%)

(億円)

売上
総利益



国内事業
+19.9

アジア事業
(為替+3.2)
+6.7

欧米 (為替+6.4)
※サンテンS.A.S.を含む
+39.4

その他
+3.0

研究
開発費
+2.6

メルク案件
償却費
+37.0

営業利益 +25.9億円
(前年比+9.4%)

営業
利益
274.1

営業
利益
300.0

13FY実績
決算期統一

14FY予想
日本基準



2014年度 配当予想について

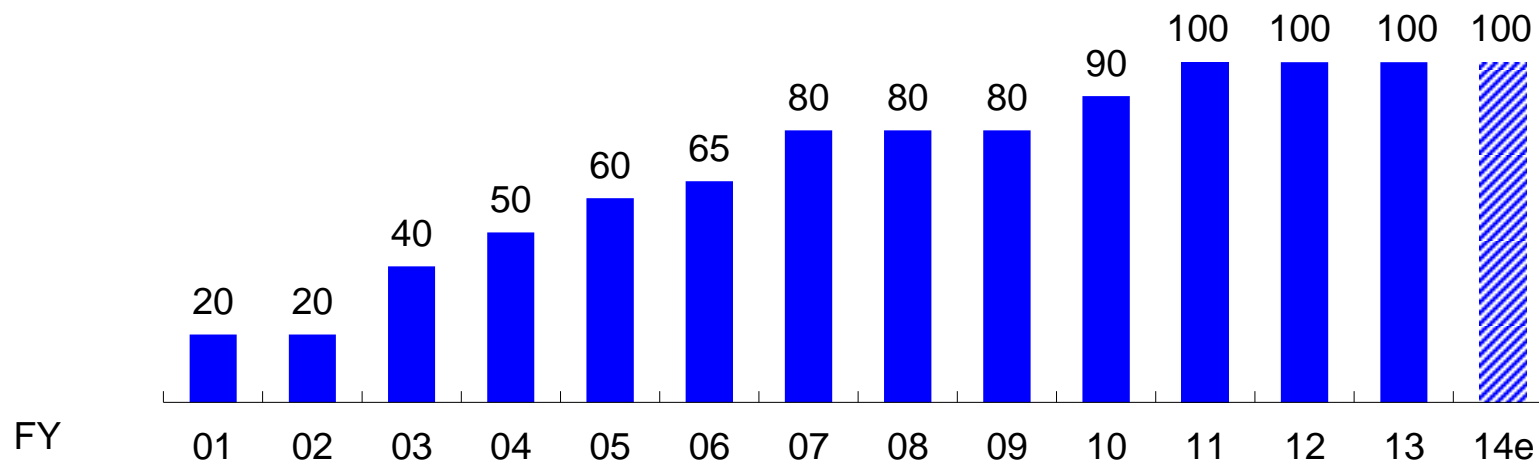
2014年度配当予想

■ 2014年度

➤ 年間配当予想: 100円

➤ 配当性向 42.3%

1株あたり年間配当額(円)



	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014e
配当性向(%)	34.9	21.4	55.8	39.7	39.9	42.9	54.7	67.2	36.3	36.0	50.8	51.1	48.2	42.3
自己株取得額(億円)	32	32	0	26	0	0	48	0	0	0	0	137	0	-
総還元性向(%)	96.4	59.5	55.8	63.3	39.9	42.9	85.8	67.2	36.3	36.0	50.8	134.4	48.2	-



参考資料
2014年度 第1四半期
連結業績概要

セグメント別売上高

(単位:億円)	2014年度第1四半期実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年 増減率	売上高	対前年 増減率	売上高	対前年 増減率
医薬品事業	258.5	▲7.7%	72.1	+28.3%	330.6	▲1.7%
医療用医薬品	245.4	▲7.4%	72.0	+28.3%	317.5	▲1.1%
眼科薬	220.1	▲7.0%	69.2	+26.9%	289.4	▲0.6%
抗リウマチ薬	23.8	▲9.7%	0.1	▲44.2%	23.9	▲10.1%
その他医薬品	1.5	▲23.2%	2.5	+110.3%	4.0	+27.5%
一般用医薬品	13.0	▲13.0%	0.1	+29.2%	13.1	▲12.8%
その他	6.1	▲9.4%	0.0	▲94.5%	6.1	▲10.7%
医療機器	5.6	▲9.2%	0.0	▲94.5%	5.6	▲10.6%
その他	0.5	▲11.3%	—	—	0.5	▲11.3%
合計	264.6	▲7.7%	72.1	+28.1%	336.8	▲1.8%

海外売上高

(単位:億円)	2013年度 第1四半期 実績	2014年度第1四半期実績		
		実績	対前年 増減額	対前年 増減率
北米	2.5	2.5	▲0.0	▲0.1%
欧州	29.7	31.9	+2.1	+7.4%
アジア	23.8	37.5	+13.7	+57.5%
うち、中国	14.2	25.2	+11.0	+77.2%
うち、韓国	6.9	7.3	+0.3	+4.9%
その他	0.0	0.0	▲0.0	▲74.8%
合計	56.2	72.1	+15.8	+28.1%
海外売上高比率	16.4%	21.4%	+5.0pt	—

貸借対照表

(単位:億円)	2014年3月末		2014年6月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,560.0	67.5%	1,819.3	70.9%	+259.2
固定資産	750.9	32.5%	745.6	29.1%	▲5.2
資産合計	2,311.0	100.0%	2,565.0	100.0%	+253.9
流動負債	390.9	16.9%	649.2	25.3%	+258.2
固定負債	108.0	4.7%	108.1	4.2%	+0.0
負債合計	498.9	21.6%	757.3	29.5%	+258.3
純資産合計	1,812.0	78.4%	1,807.6	70.5%*	▲4.4
負債純資産合計	2,311.0	100.0%	2,565.0	100.0%	+253.9

* 自己資本比率: 14年3月末78.2% → 14年6月末70.3% ・ 発行済株式数: 14年3月末 82,582千株 → 14年6月末 82,587千株

【主要変動科目】

- 流動資産: 現金及び預金+292.0億円、受取手形及び売掛金▲ 15.9億円、有価証券▲ 45.0億円、商品及び製品+41.1億円
- 固定資産: のれん▲ 3.6億円、仕掛研究開発▲1.9億円、投資有価証券+9.4億円、長期繰延税金資産▲ 4.9億円
- 流動負債: 支払手形及び買掛金+12.2億円、短期借入金+350.0億円、未払金▲17.3億円、未払法人税等▲ 71.8億円、賞与引当金▲ 19.1億円
- 純資産 : 利益剰余金▲ 3.9億円、その他有価証券評価差額金+6.1億円、為替換算調整勘定▲ 7.0億円

損益計算書の要約差異(対前年比較)

(単位:億円)	2013年度 第1四半期 実績	2014年度 第1四半期		主な差異要因
		実績	前年比	
売上高	343.1	336.8	▲1.8%	
売上原価 (対売上高比率)	135.0 39.3%	135.8 40.3%	+0.6% +1.0pt	・品目構成の変化 +1.3pt ・薬価改定の影響 +0.5pt ・原価低減 ▲0.7pt
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	91.5 26.7%	104.6 31.1%	+14.4% +4.4pt	・国内事業 ▲0.7億円 ・アジア +4.2億円 (為替+1.2億円) ・欧米 +5.3億円 (為替+2.1億円)
研究開発費 (対売上高比率)	38.4 11.2%	42.3 12.6%	+10.2% +1.4pt	・国内+2.5億円 ・海外+1.4億円 (為替+1.2億円)
営業利益 (対売上高比率)	78.1 22.8%	53.9 16.0%	▲31.0% ▲6.8pt	
営業外収益	4.5	4.7	+5.0%	
営業外費用	0.5	3.6	-	
経常利益	82.1	54.9	▲33.1%	
特別利益	-	-	-	
特別損失	0.0	-	-	
税金等調整前当期純利益	82.1	54.9	▲33.1%	
法人税等	26.5	17.6	▲33.4%	
四半期純利益	55.6	37.3	▲32.9%	

<為替レート>	13FY1Q実績	14FY1Q実績
US\$	98.28円	102.17円
Euro	125.11円	140.18円
中国元	14.62円	16.54円

キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2014年度 第1四半期実績
現金等期首残高	723.9
現金等 増減額	+256.0
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲52.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	+3.9
財務活動によるキャッシュ・フロー	+309.6
現金等に係る換算差額	▲5.3
現金等期末残高	980.0

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません

設備投資額/減価償却費

(単位:億円)	2013年度 第1四半期 実績	2014年度 第1四半期	
		実績	増減額
設備投資額	10.2	3.8	▲ 6.4
減価償却費	5.6	6.9	+ 1.3



参考資料

2014年度 通期業績予想 修正

2014年度 連結業績予想

(単位:億円)	2013年度 (決算期統一) 実績	2014年度 旧予想 (日本基準)	2014年度 旧予想 (IFRS)	2014年度 予想 修正 (日本基準)	対前年 増減率	2014年度 予想 修正 (IFRS)*
売上高	1,486.6	1,510.0	1,510.0	1,560.0	+4.9%	1,560.0
売上原価 (対売上高比率)	581.0 39.1%	575.0 38.1%	575.0 38.1%	520.0 33.3%	▲10.5% ▲5.8pt	520.0 33.3%
研究開発費除く 販売管理費 (対売上高比率)	441.0 29.7%	465.0 30.8%	456.0 30.1%	510.0 32.7%	+15.6% +3.0pt	538.0** 34.4%
研究開発費 (対売上高比率)	190.4 12.8%	190.0 12.6%	188.0 12.4%	193.0 12.4%	+1.4% ▲0.4pt	191.0 12.2%
営業利益 (対売上高比率)	274.1 18.4%	280.0 18.5%	291.0 19.2%	300.0 19.2%	+9.4% +0.8pt	311.0 19.9%
経常利益	279.2	285.0	296.0	300.0	+7.4%	311.0
当期純利益	171.0	186.0	196.0	195.0	+14.0%	205.0
ROE	9.9%	10.0%	10.2%	10.5%	+0.6pt	10.6%

*【予想値の日本基準-IFRS間の差異原因】

・のれん非償却

・開発導入一時金の資産計上

**メルク案件に係る無形資産償却費37億円を含む

<為替レート>

US\$

13FY実績
JPY 100.04

14FY予想
JPY 103.00

Euro

JPY 132.98

JPY 141.00

中国元

JPY 15.93

JPY 16.90

2014年度 連結業績予想 修正 上期・下期

(単位:億円)	2014年度 予想 修正					
	上期	対前年 増減率	下期	対前年 増減率	合算 (日本基準)	対前年 増減率
売上高	720.0	+4.0%	840.0	+5.8%	1,560.0	+4.9%
売上原価 (対売上高比率)	260.0 36.1%	▲4.3%	260.0 31.0%	▲16.0%	520.0 33.3%	▲10.5%
研究開発費除く 販売管理費 (対売上高比率)	240.0 33.3%	+22.7%	307.0 36.5%	+25.1%	547.0 35.1%	+24.0%
研究開発費 (対売上高比率)	90.0 12.5%	+11.4%	103.0 12.3%	▲6.0%	193.0 12.4%	+1.4%
営業利益 (対売上高比率)	130.0 18.1%	▲10.1%	170.0 20.2%	+31.2%	300.0 19.2%	+9.4%

償却前営業利益	160.0 22.2%	▲0.0%	217.0 25.8%	+43.4%	377.0 24.1%	+21.0%
---------	----------------	-------	----------------	--------	----------------	--------

2014年度予想

セグメント別売上高予想 修正

(単位:億円)	2014年度 予想 修正					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年 増減率	売上高	対前年 増減率	売上高	対前年 増減率
医薬品事業	1,214.7	+1.9%	315.6	+19.1%	1,530.3	+5.0%
医療用医薬品	1,151.6	+2.1%	315.4	+19.2%	1,467.0	+5.3%
眼科薬	1,037.7	+2.0%	283.5	+10.7%	1,321.2	+3.7%
抗リウマチ薬	99.5	▲2.0%	0.3	▲61.4%	99.9	▲2.5%
その他医薬品	14.3	+67.2%	31.5	+318.1%	45.8	+184.7%
一般用医薬品	63.0	▲1.7%	0.2	▲36.6%	63.3	▲1.9%
その他	29.1	+0.5%	0.4	▲6.7%	29.6	+0.4%
医療機器	29.0	+10.5%	0.4	▲20.7%	29.4	+9.8%
その他	0.1	▲95.6%	0.0	—	0.1	▲92.8%
合計	1,243.8	+1.9%	316.1	+19.1%	1,560.0	+4.9%

2014年度予想

海外売上高予想 修正

(単位:億円)	2013年度 (決算期統一) 実績	2014年度		
		予想 修正	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	10.7	31.0	+20.3	+189.1%
欧州	122.9	136.4	+13.4	+11.0%
アジア	131.7	148.5	+16.8	+12.8%
うち、中国	97.9	100.6	+2.6	+2.7%
うち、韓国	21.0	27.5	+6.5	+31.1%
その他	0.0	0.1	+0.0	+71.9%
合計	265.5	316.1	+50.6	+19.1%
海外売上高比率	17.9%	20.3%	+2.4pt	—

設備投資額/減価償却費

(単位:億円)	2013年度 (決算期統一) 実績	2014年度	
		予想 修正	対前期 増減額
設備投資額	31.5	66.9	+35.3
減価償却費	26.1	67.0	+40.8

2014年度予想

セグメント別売上高 旧予想

(単位:億円)	2014年度 旧予想					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年 (決算期統一) 増減率	売上高	対前年 (決算期統一) 増減率	売上高	対前年 (決算期統一) 増減率
医薬品事業	1,187.5	▲0.4%	292.7	+10.5%	1,480.3	+1.6%
医療用医薬品	1,124.5	▲0.3%	292.5	+10.6%	1,417.0	+1.8%
眼科薬	1,010.6	▲0.7%	283.5	+10.7%	1,294.1	+1.6%
抗リウマチ薬	99.5	▲2.0%	0.3	▲61.4%	99.9	▲2.5%
その他医薬品	14.3	+67.2%	8.6	+15.0%	22.9	+42.8%
一般用医薬品	63.0	▲1.7%	0.2	▲36.6%	63.3	▲1.9%
その他	29.1	+0.5%	0.4	▲6.7%	29.6	+0.4%
医療機器	29.0	+10.5%	0.4	▲20.7%	29.4	+9.8%
その他	0.1	▲95.6%	0.0	—	0.1	▲92.8%
合計	1,216.7	▲0.4%	293.2	+10.5%	1,510.0	+1.6%

2014年度予想

海外売上高 旧予想

(単位:億円)	2013年度 (決算期統一) 実績	2014年度		
		旧予想	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	10.7	8.1	▲2.5	▲23.8%
欧州	122.9	136.4	+13.4	+11.0%
アジア	131.7	148.5	+16.7	+12.8%
うち、中国	97.9	100.6	+2.6	+2.7%
うち、韓国	21.0	27.5	+6.5	+31.1%
その他	0.0	0.1	+0.0	+71.9%
合計	265.5	293.2	+27.7	+10.5%

海外売上高比率	17.9%	19.4%	+1.6pt	—
---------	-------	-------	--------	---



参考資料

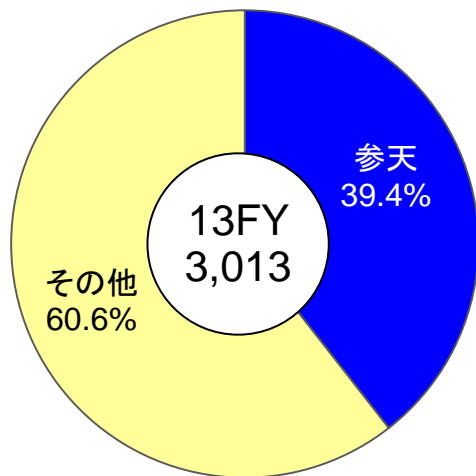
国内医療用眼科薬市場概況

国内医療用眼科薬：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科薬計：14FY1Qの市場規模は対前年+6.5%。網膜、抗アレルギー領域の市場が拡大した。参天シェア38.5%
- ・緑内障：市場は対前年-1.1%縮小。新薬創出加算前の駆け込み需要の反動により、参天は対前年-4.8%。当社のシェアは29.4%
- ・角膜：市場は対前年-1.5%縮小。新薬創出加算前の駆け込み需要の反動により、参天は対前年-9.2%。当社のシェアは66.6%

市場規模:億円
%:金額ベース

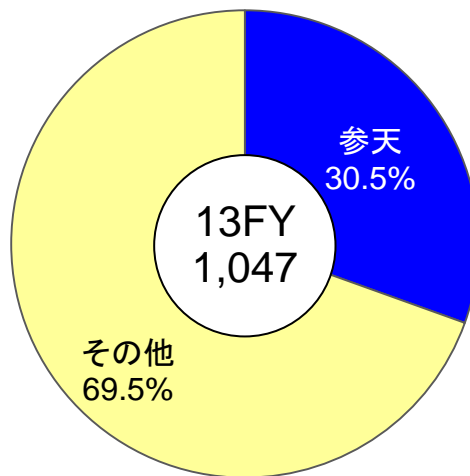
眼科薬計



13FY 14FY1Q

(金額) 前年比	市場	+10.2%	+6.5%
	参天	+23.1%	+2.8%
参天シェア		39.4%	38.5%

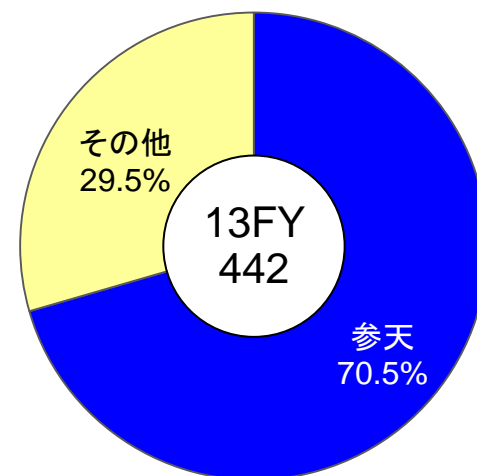
抗緑内障剤



13FY 14FY1Q

市場	+10.5%	-1.1%
参天	+10.7%	-4.8%
参天シェア	30.5%	29.4%

角膜疾患治療剤



13FY 14FY1Q

市場	+11.5%	-1.5%
参天	+5.4%	-9.2%
参天シェア	70.5%	66.6%

- 主な参天製品：
 ・抗緑内障剤：タプロス、コソプト、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
 ・角膜疾患治療剤：ヒアレイン、ジクアス

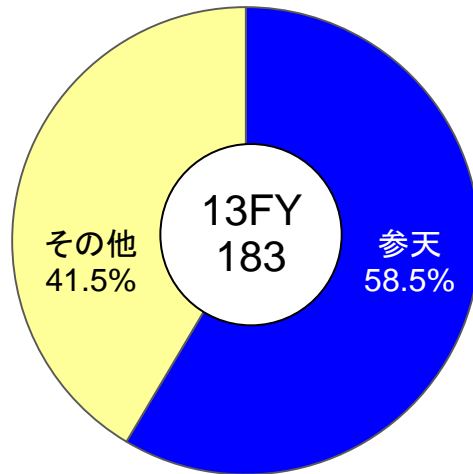
出典：©2014 IMS Health
 IMS-JPM 2012-14を基に参天分析
 無断転載禁止

国内医療用眼科薬（抗菌・抗アレルギー）

- ・抗菌：市場は対前年-9.2%縮小。参天はクラビットを中心にシェア56.4%
- ・抗アレルギー：市場は対前年+22.5%拡大。参天シェアは29.5%
2013年11月下旬発売のアレジオンが参天シェア拡大を牽引

市場規模: 億円
%: 金額ベース

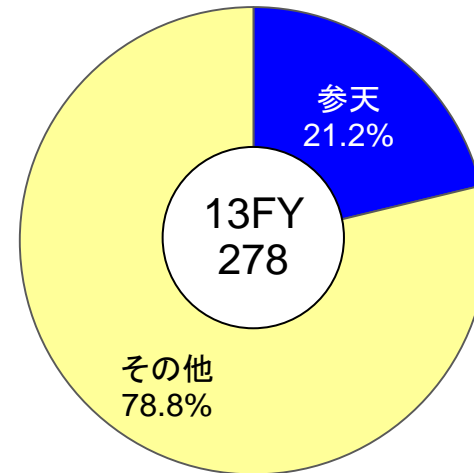
抗菌点眼剤



13FY 14FY1Q

(金額) 前年比	市場	-3.0%	-9.2%
	参天	-7.8%	-15.1%
参天シェア		58.5%	56.4%

抗アレルギー剤



13FY 14FY1Q

-9.7%	+22.5%
+19.7%	+100.1%
21.2%	29.5%

-主な参天製品:

- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
- ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレジオン、アレギサール

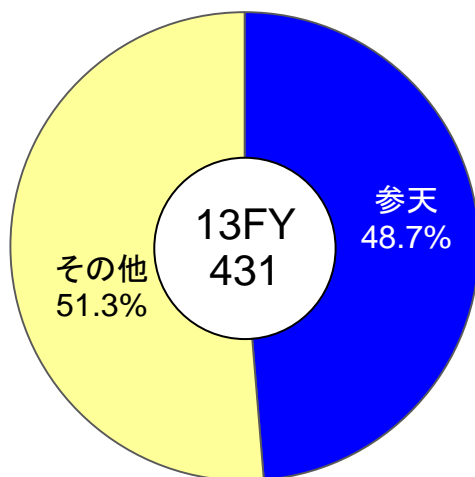
出典: ©2014 IMS Health
IMS-JPM 2012-14を基に参天分析
無断転載禁止

国内医療用眼科薬（抗VEGF）／抗リウマチ薬

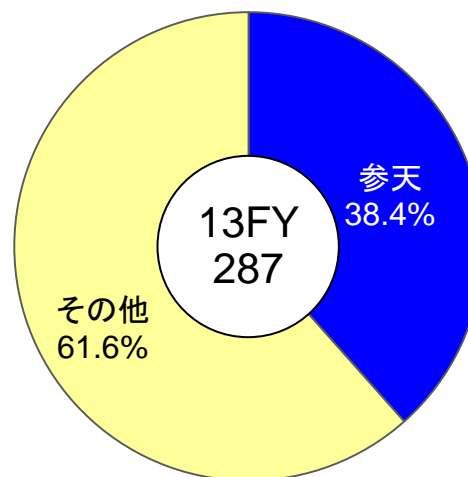
- ・抗VEGF： 市場は対前年+52.8%拡大。アイリーアの高成長により参天シェアは45.0%を確保
- ・抗リウマチ： 市場は対前年-0.9%縮小。参天シェアは37.6%

市場規模: 億円
%: 金額ベース

抗VEGF剤



抗リウマチ剤 (DMARDs)



		13FY	14FY1Q
(金額) 前年比	市場	+52.6%	+52.8%
	参天	—	+36.6%
参天シェア		48.7%	45.0%

		13FY	14FY1Q
市場		+5.5%	-0.9%
参天		+2.0%	-4.8%
参天シェア		38.4%	37.6%

- 主な参天製品:
- ・抗VEGF剤: アイリーア
- ・抗リウマチ剤: リマチル、アザルフィジン、メトレート

出典: ©2014 IMS Health
IMS-JPM 2012-14を基に参天分析
無断転載禁止



参天製薬株式会社

2014年度 第1四半期決算説明会

製品開発の現状

常務執行役員

チーフ・サイエンティフィック・オフィサー

兼 研究開発本部長

ナヴィード・シャムズ

主要臨床プロジェクト状況一覧①【領域別】

(赤字下線: 13FY4Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
緑内障・ 高眼圧症		DE-117 ^{P2b} EP2受容体作動薬		中国 DE-085 タフルプロスト	
		DE-090 ロメリジン塩酸塩		欧州 DE-111 タフルプロスト/チモロール	日本
				アジア DE-118 タフルプロスト UD	日本
角結膜疾患				中国 DE-089 ジクアホソルナトリウム	韓国
		米国 Cyclokat シクロスポリン		Cyclokat シクロスポリン 欧州	
網膜・ ぶどう膜疾患	米国 DE-120 VEGF/PDGF阻害剤		DE-109 シロリムス		
その他 感染症・アレルギー・RA			Vekacia シクロスポリン		

主要臨床プロジェクト状況一覧②【地域別】

(赤字下線: 13FY4Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

実施地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
日本		DE-090 ロメリジン塩酸塩	DE-109 シロリムス		DE-111 タフルプロスト/チモロール
					DE-118 タフルプロスト UD
北米 (ラテンアメリカ含む)		DE-117 EP2受容体作動薬 P2b	DE-109 シロリムス		
	DE-120 VEGF/PDGF阻害剤				
		Cycloklat シクロスポリン			
アジア (オセアニア含む)				中国 DE-085 タフルプロスト	
				中国 DE-089 ジクアホソルナトリウム	韓国
				DE-118 タフルプロスト UD	
欧州			DE-109 シロリムス	DE-111 タフルプロスト/チモロール	
			Vekacia シクロスポリン	Cycloklat シクロスポリン	

主要臨床プロジェクトの現状 — 緑内障・高眼圧症 —

■DE-085 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/13発表時)	
中国	承認申請中	承認申請中	一般名: タフルプロスト

■DE-090 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/13発表時)	
日本	P2	P2	一般名: ロメリジン塩酸塩

■DE-111 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/13発表時)	
日本	承認	承認	一般名: タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩(配合剤)
欧州	承認申請中	承認申請中	

主要臨床プロジェクトの現状 — 緑内障・高眼圧症、角結膜疾患 —

■DE-117 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/13発表時)	
米国	P2b	P2b準備中	EP2受容体作動薬

■DE-089 ドライアイ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/13発表時)	
アジア	中国:承認申請中 韓国:発売	中国:承認申請中 韓国:発売	一般名: ジクアホソルナトリウム

主要臨床プロジェクトの現状－網膜/ぶどう膜疾患－

■DE-120 滲出型加齢黄斑変性

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/13発表時)	
米国	P1/2a	P1/2a	VEGF/PDGF阻害剤

■DE-109 ぶどう膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/13発表時)	
米国	P3	P3	一般名:シロリムス
日本	P3	P3	
欧州	P3	P3	

主要臨床プロジェクトの現状ーサンテン・エス・エー・エスー

■Cyclokate(シクロカット) 重症ドライアイ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/13発表時)	
欧州	承認申請中	承認申請中	一般名:シクロスポリン
米国	P2終了	P2終了	

■Vekacia(ベカシア) 春季カタル

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/13発表時)	
欧州	P3	P3	一般名:シクロスポリン

※以下のものは事業性評価中

開発品名	適応症	地域	開発段階	備考
Catioprost (カチオプロスト)	緑内障・ 高眼圧症	欧州	P2	一般名:ラタノプロスト
Cortiject (コルチジェクト)	糖尿病 黄斑浮腫	米国	P1/2	一般名:デキサメタゾン パルミチン酸エステル

主要臨床プロジェクトの現状—網膜/ぶどう膜疾患—

■DE-102 糖尿病および網膜静脈分枝閉塞症(BRVO)に伴う黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/13発表時)	
日本	中止	P2/3終了	一般名:ベタメタゾン

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

Santen